

## 【1月+αの行事予定】

日	曜	行 事
1	月	学校閉庁日
2	火	学校閉庁日
3	土	学校閉庁日
4	日	
5	月	第3回マーク演習①(8:20点呼)
6	火	第3回マーク演習②(8:20点呼)
7	水	始業式 大掃除
8	木	第3回共通テスト説明会(7限)
9	金	
10	土	共通テスト1週間前です 準備も体調も万全にしておきましょう
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	激励会(4限) 午後放課
17	土	大学入学共通テスト①
18	日	大学入学共通テスト②
19	月	自己採点会(午前)、 不受験者は授業
20	火	個別試験対策授業開始
21	水	
22	木	共通テストの結果を受けて 国公立大学の出願先を決定する時期。担任の先生や 保護者とよく話し合おう。
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	国公立大学出願開始
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	
2/1	日	
2	月	
3	火	
4	水	国公立大学出願締め切り
5	木	3年教室・学習室ワックスがけ

共通テスト前ラストの演習！  
本番を想定して臨もう！

共通テスト1週間前です  
準備も体調も万全にしておきましょう

共通テストの結果を受けて  
国公立大学の出願先を決定する時期。担任の先生や  
保護者とよく話し合おう。

国公立大学出願開始



私立大学等一般選抜試験  
(大学・短大によるので要項を確認すること。)

大学入学共通テスト直前！これからは学習面のラストパートだけでなく、試験本番に向けての「心構え」も必要となってきます。以下のポイントを押さえて、共通テストに臨みましょう！

### 生活リズムを整えよう

- ① 大学入学共通テスト入室は9:00。  
集合点呼は8:00。  
→夜型の人は朝型へ生活習慣を切り替えよう。
- ② 普段と違う食べ物・飲み物には注意。  
→いつも通りの食事をしよう。
- ③ 本番までは、スマホ・SNS・漫画などを控える。  
→本番に向けて集中力を高めていこう。

### 先輩からのメッセージ

～健康管理は隠れた入試科目～

- 風邪をひいてしまったせいで、失敗した。  
寒さ対策をしっかりとっておこう。
- 試験中の最大の敵は寝不足・寝坊だった。
- 早寝早起きなど生活リズムを作るのは大事。朝から脳がしっかり働くようにしよう。

このあたりまでに私立大学の出願を済ませよう。  
(実際の出願締め切りは、各大学・短大によるので  
募集要項を必ず確認すること。)

### 共通テストまでに確認しよう！

- ① 模試などで、あいまいだった問題を確認・復習！  
→教科書や参考書で確認しよう。
- ② 時間配分の感覚を身につける。  
→時間内に解き終える練習をしよう。
- ③ 地歴公民、理科の受験する順番を事前に決めておく。  
→「第一解答科目」と「高得点科目」のどちらを合否判定に利用するかは大学によって異なることがあるので要注意。大学の募集要項を確認しよう。
- ④ マークシート・問題冊子への記入を正確に！  
→正確な自己採点につなげよう。
- ⑤ 1問にこだわる姿勢を確認する。  
→1科目につき、あと2～3問ずつは確実に解けるように勉強しよう(1問は2～4点ある)。

## 試験当日の過ごし方

### ① 待ち時間をどのように過ごすか。

- ・「参考書やノートなどで最終チェック」、「リラックスして待つ」など、どんなふうに過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを考えて、決めておこう。
- ・昼食時の気持ちの切り替えも重要。

### ② 終わった試験は振り返らない。

- ・試験と試験の間に、終わった試験内容を振り返っても自分の解答を変更することはできないので、意味はありません。次の試験の確認を行うなど有意義に過ごしましょう。
- ・友人や1人で「あの問題は①番を選択した」や「計算ミスった〜」、「上手くいった」などと口にするのはやめましょう。前述の通り振り返ることに意味がないことと、口に出すことで「失敗した」という思いを自分に刻み込み、自分で自分を追い込んでしまう行為であるとともに、周囲の人に聞こえることで、誰かにプレッシャーを与えることになってしまうからです。

※復習は1月19日(月)の自己採点が終わってから行いましょう。

## 共通テスト本番での解答の掟

- 試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること
- 受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認すること
- マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」などがなく確認すること
- 受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること
- マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること
- 訂正の際は完全に消しゴムで消すこと
- 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと
- 問題冊子の最終ページを必ず確認すること(最後の設問を見落とさないこと)

※正確な自己採点を行うためにも以上のことに気をつけましょう。

## 【受験の「倍率」について】

### (1) 「志願倍率」、「実質倍率」とは？

ひと口に倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のことで、志願者とは実際に大学に出願した人のことです。「志願倍率」では、その大学の人気度がわかる。一方「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで、実際の試験での競争率がわかる数字です。

出願はしたものの、**試験当日までに第1志望校の合格が決まった受験生などは受験しない場合があります、「志願者数と受験者数が違う」といったことが起こります。**また、入学辞退者を見込む大学は、募集人員よりも多めに合格者を発表するため「募集人員と合格者数が違う」ということも起こります。このように「志願倍率」と「実質倍率」では数値も意味も異なるので、単に「倍率」といった場合には、どちらの倍率を意味するのか注意が必要です。

### (2) 国公立大学の中期日程及び後期日程について

国公立大学の中期日程や後期日程は実施する大学が前期日程と比較して少ないということもあり、「志願倍率」は高い。しかし、前期日程での合格者や受験からドロップアウトした受験生が試験を欠席することから、「実質倍率」はそれなりに下がります。大学や学部、学科によって異なるが、昨年度入試の後期日程の欠席率(平均値)は約6割(参考値)とのデータもあります。「実質倍率」が2倍を切っている募集区分も全体の約2割(参考値)あります。**中期日程や後期日程まで見据えて取り組むことでチャンスは広がる**と言えるのではないのでしょうか。ぜひ、頑張りましょう！

※参考値はベネッセコーポレーションの「2025年度入試結果データ」を参照し、算出。

